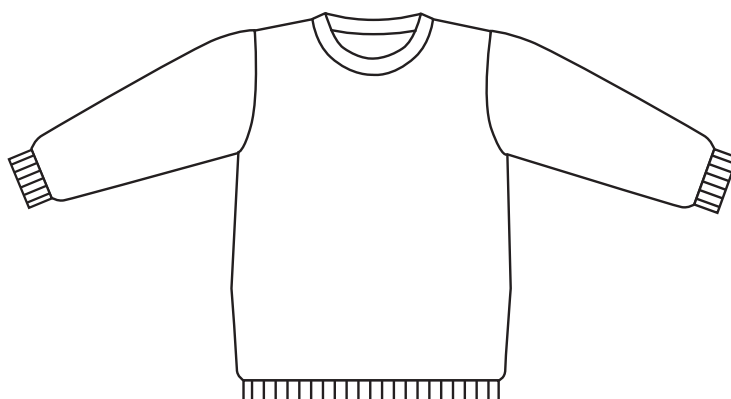


③ニットファブリック付け (袖口や裾の輪の部分に別布を縫い付ける)

トレーナーやTシャツなどの袖口や裾によく使われる別布を付ける方法です。

リブ付けとも言われます。

輪になった部分に輪になった別布を縫い付けます。リブを伸ばさず縫い上げるために、「差動システム」を使用します。



ミシンの設定

・基本の数値ですので生地に合わせて調節して下さい。

使用できる機種 1 本針 3 本糸差動付きロック
2 本針 4 本糸ロックの全機種
使用する押え バルキー押え



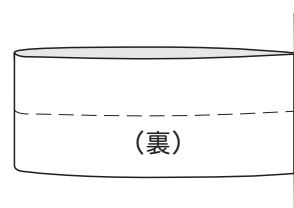
バルキー押え

		縫い目切換ダイヤル		かがり幅	送り目	差動
		糸取物語	衣縫人	ダイヤル	ダイヤル	レバー
4 本糸 ロック	2 本針 4 本糸	OVER A	左 右 上 下 針 針 リー パ 糸 糸 ー ー 糸	7.5	3	1.3 ↓ 2.0
	1 本針 3 本糸※	OVER B		5.0		
3 本糸 ロック	1 本針 3 本糸※	OVER A	4 4 4 4			

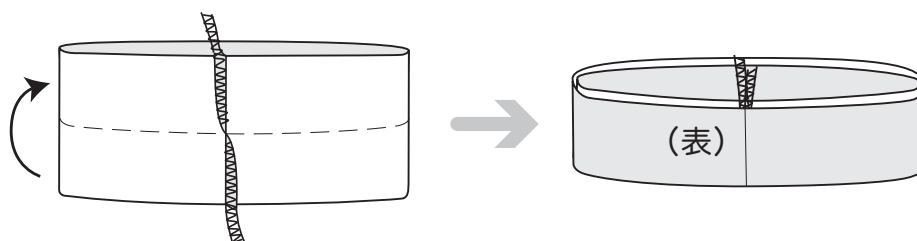
※3 本糸の縫い合わせは薄地にのみ対応しています。

縫い方 袖口に付ける場合

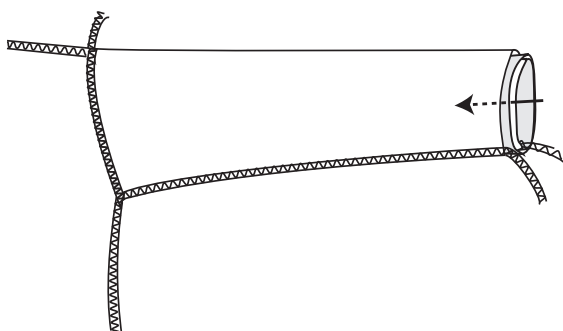
1. リブ生地(別布)を中表に合わせ輪にします。



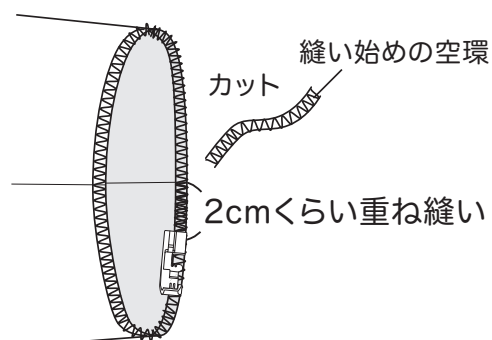
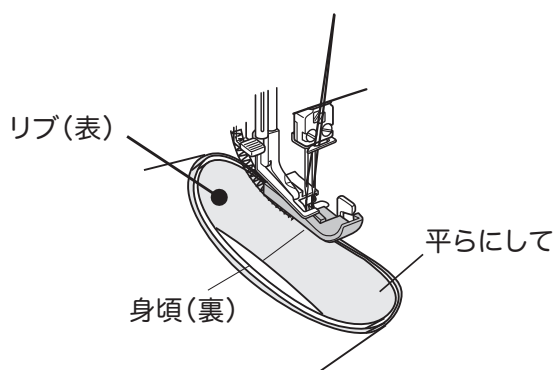
2. 1を外表に半分に折り2重にします。この時縫い代は互い違いに倒します。



3. 裏返しにした袖口の中に2のリブを入れます。袖下の縫い合わせとリブの縫い合わせを合わせ、クリップで留めます。合印がある場合は合印を合わせ、それぞれ留めます。合印が無い場合は均等になるように袖下、袖山とその間をそれぞれ留めます。



4. リブを上にした状態で袖下より2cmくらい奥から縫います。押えの手前で軽く手前に引っぱり、縫う部分を平らにしながらゆっくりと少しずつ縫いましょう。1周縫い終わったら、縫い始めの空環^{からかん}を切ります。メスをロックし、2cmくらい重ねて縫います。



5. 針と押えを上げ、生地を針の手前からどかすように90度左に回転させ、押えを下ろします。はずみ車を2、3回まわし、縫い目を作った後、コントローラーを踏み出し空環を作り、切ります。

